

(様式 1)

## 横浜市川島町公園こどもログハウス 指定管理者事業計画書

(20 年度)

団体名	保土ヶ谷区区民利用施設協会		
代表者	会長 橋本 淳	団体設立年月日	平成 7 年 4 月 1 日
団体所在地	横浜市保土ヶ谷区西谷町 918 番地		
連絡先	Tel 045-370-5231 Fax 045-370-5230		
現在運営している施設名	施設種別	施設所在地	運営期間
横浜市 ほどがや地区センター	地区センター	保土ヶ谷区天王町 1-21	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日
横浜市 西谷地区センター	地区センター	保土ヶ谷区西谷町 918	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日
横浜市 初音が丘地区センター	地区センター	保土ヶ谷区藤塚町 15-1	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日
横浜市 桜ヶ丘コミュニティハウス	コミュニティハウス	保土ヶ谷区岩崎町 15-30	始平成 11 年 5 月 15 日 至平成 23 年 3 月 31 日
横浜市 峯小学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	保土ヶ谷区峰岡町 1-10	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日
横浜市 笹山小学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	保土ヶ谷区上菅田町 1422	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日
横浜市 くぬぎ台小学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	保土ヶ谷区川島町 1374-1	始平成 17 年 5 月 15 日 至平成 23 年 3 月 31 日
横浜市 瀬戸ヶ谷スポーツ会館	スポーツ会館	保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町 71	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日
横浜市 川島町公園こどもログハウス	ログハウス	保土ヶ谷区川島町 825-1	始平成 7 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日

## 1 申請団体にすること

- (1) 団体の経営方針について
- (2) 団体の事業（活動）実績について

### (1) 保土ヶ谷区区民利用施設協会の経営方針について

- ア 区民のニーズに応え、公共的かつ公平性を担保した区民利用施設の管理運営を行うこと
- イ 区民の自主的な活動の支援を通じて、区民を主体とした活力とふれあいのある快適な地域コミュニティの醸成に寄与すること
- ウ 効率的かつ効果的な区民利用施設の運営を行うこと
- エ 公の施設の管理運営の実績を生かし安定した経営に努めること

### (2) 保土ヶ谷区区民利用施設協会の事業実績(活動実績)について

保土ヶ谷区区民利用施設協会は、平成7年4月1日に地区センター3館・コミュニティハウス2館・こどもログハウス及びスポーツ会館の合計7館で運営を開始し、その後コミュニティハウス2館（既設施設転用型1館・学校施設活用型1館）を加え、現在は9館の運営管理を実施しています。

この間、地域に密着した運営に努め、利用者の拡大に努めてまいりました。

また、自主事業につきましても、利用者のニーズを取り入れた講座等を実施するなど取り組んできました。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

## 2 こどもログハウスの管理運営に関する基本方針について

- (1) 施設の設置目的を踏まえた運営方針
- (2) 施設が設置される地域における関わりや取組方針

こどもログハウスは、「こども同士の遊びを通じ、青少年の健全育成を育むことのできる場」という設置理念に基づき次のような運営を行います。

(1) ログハウスは、異年齢の子どもたちが常時集い、遊びを通して創造性や協調性を養うことができる公共の施設です。子どもにとっては友達と新しい遊びの発見の場所とし、親子にはコミュニケーション・スキンシップの再認識ができる場所とします。放課後の児童が安心して過ごせるよう、みんなが平等に楽しく利用できるように管理運営に努めて行きます。

(2) 地域の方々が、コンサートなどの開催場所として施設を利用し、施設側も協力をしています。また、隣接している川島保育園から広報物をいただき、地元西谷中学校から学校通信をいただき、館内に掲示して地域の掲示板として活用しています。

幼稚園、保育園、小学校、学童保育では施設を毎年の遠足や遊びの場として活用し、学校では体験できない遊びや遊具を楽しんでもらい、子どもたちにも先生方にも大変喜ばれています。

子育てをしているグループも自主的に活動のため施設を利用しています。親子で楽しく遊んだ後、ベランダでお弁当を広げ、とても和やかで楽しい雰囲気の場面もしばしば見受けられ、子育ての拠点として定着しています。

一般の方、団体の方々が平等に気持ちよく施設を利用できることを基本に、引率者や子どもたちへ利用のアドバイスを行っています。

運営委員会を開催するとほとんどの方が出席され、いじめ、怪我、遊具の安全性等に関する質問をされます。学校の先生、PTA、子ども会、保護司、地元自治会の代表者が気持ちを一つに「地域でしっかりと子育てをしよう」とログハウスを温かく見守ってくださっていることの現われだと思っています。私たちはそれにお応えできるような管理運営に取り組んでいます。

※ A4版1枚内でまとめるよう、お願ひいたします。

### 3 区の特徴・区政運営方針等の理解と運営方針への反映について

区政運営方針では地域全体で展開する『子育て・青少年健全育成への支援』をかかげています。川島町公園こどもログハウスを『子育て・青少年健全育成への支援の場』と位置づけ、それを具現化するために「地域で子育て」を目標にさらに活性化していきたいと思っています。

- 1 放課後児童の心地よい居場所となるようにする
- 2 区子連のジュニアリーダーの活用でプレイリーダーの養成
- 3 子育てはまず親支援、子育てママたちがみんなで協力して何かをやり遂げることができるイベント企画

少子化・核家族化の進行や社会の急速な変化に対応するために

保土ヶ谷区の人口動態によると、15歳未満の子どもたちは年毎に減少しています。兄弟姉妹・友人のとの関わりが薄く、切磋琢磨の機会に恵まれません。さらに親の過干渉により自主性が損なわれるのも問題です。これらの現代的な子どもたちの成長、環境をふまえながら、公共の遊び場施設として、地域の町内会、幼稚園、保育園、学校関係と連携して社会全体で子どもと子育てをしている親に関わることが大切です。

ログハウスは異年齢の子どもたちが集い、スタッフや大人たちが大きな子には小さな子への対応を教え、遊びながら人との関わり方を学べる場でもあります。ログハウスで遊びをとおして子どもたちに「たくましく生きる力」を育んでいます。

小学校などでも児童数減少の傾向は強く、いろいろな人や機会に接する場面を増やすような活動に、施設を提供するなど協力しています。

各団体や近隣の区民利用施設、地域の方々と連携し、この施設が子どもたちを育み、子どもたちにとって、楽しい場所になるよう施設の運営に努めてまいります。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願ひいたします。

#### 4 地域及び利用者ニーズの把握と運営への反映について

- (1) 地域及び利用者ニーズの把握方法について
- (2) (1)で把握したニーズの運営への反映の仕方について

##### (1) 地域及び利用者ニーズの把握方法について

利用者のほとんどが小学生と幼児であるため、利用者本人のニーズを把握しにくいところはありますが、小学生へは定期的にアンケートを実施し、また幼児同伴の母親からはスタッフが直接要望等について把握しています。

また、運営委員会の存在は重要で、地元町内会、学校関係者、各種団体などの方からは、幅広い地域のニーズを得ることが出来ます。

職員も地域在住であり、子育て中のスタッフは学校や地域の子どもたちの情報を数多く持っているので活用しています。

スタッフの明るいあいさつから始まる人と人の関わり、誠意ある姿勢が利用者とのコミュニケーションを深めていきます。そしていろいろな話題からこんなものがあったら、こんなことしてもらえたらいいうニーズが出てきます。提案箱を設置して、いつでも誰でもニーズが書きこめ、投書出来るようにしています

##### (2) (1)で把握したニーズの運営への反映の仕方について

提案箱の内容は、できることから迅速に対応して、利用者にもそのニーズや対応状況をログハウスだよりを通じて伝えてまいります。

施設整備や運営の根幹に係わることなどは、区役所、保土ヶ谷土木事務所などと連携をとりながら改善・管理運営してまいります。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

## 5 利用者へサービス提供に対する考え方

- (1) すべての利用者への公平なサービス提供について
- (2) 利用者の立場に立ったサービス提供及び情報提供について
- (3) 苦情処理対策について

### (1) すべての利用者への公平なサービス提供について

ログハウスを日常利用する子どもは近隣に居住しています。そのため親子共々特定の人たちと親しくなる傾向がありますが、スタッフ一同利用する方々に誠意を持ち、平等に接することを基本としています。また、いつも施設内を安全に楽しく利用できるように施設内点検、遊具点検(チェックシートによる)を実施し、みんなが気持ちよく使えるようにアドバイスすることも利用者への公平なサービス提供と考えます。

### (2) 利用者の立場に立ったサービス提供及び情報提供について

利用したいときに気軽に利用できることが大切なことだと思います。「今日開館していますか？場所はどこですか？」という電話対応から場所確認の地図の提供、イベント予定の情報提供など、ログハウスだよりやホームページを通じて、広く提供することにより多くの利用者が訪れています。また、イベント情報等については、広報などがや区版、区ホームページに掲載していただくほか、Y C Vを活用しています。

年4回ログハウスだよりであるアドベンチャー通信を発行し、学校や地域などに配布しています。ログハウス内にもいろいろな掲示物を貼りますが、イラストなどで工夫し、子どもたちに理解できるよう作成しています。

### (3) 苦情処理対策について

直接寄せられる苦情は、スタッフひとりひとりが迅速に対応するように常に心がけています。スタッフ同士の判断により、協会対応が必要な場合は素早く連携をとり、スタッフ全員が徹底すべき内容などは連絡ノートを通じて、確認しあっています。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

## 6 自主事業の提案について

### (1) 自主事業計画に関する基本方針

※ 具体的な計画については、様式2及び様式3に記載すること

- 1 子どもたちが主体的に事業に参加し、仲間と遊ぶ楽しさを体験する。
- 2 遊びをとおして、他の人格を認め、やさしさが育まれるようにする。
- 3 子育てに関する情報交換の場となるようにする。

#### 子どもが主体的であること

毎年実施する来館者アンケート結果を基本に、子どもの視点に立った事業を計画しています。地域の大人たちに見守られながら、子どもたちが主体的に事業に参加し、達成感や仲間と遊ぶ楽しさを体験しています。

#### 子どもの自発的な興味を引き出す事業

子どものプレイリーダー「遊び(事業)のお手伝いさん」育成。

事業実施の際、「こんなことができたらいいな」など子どもたちからアドバイスをしてもらい、そのお手伝いもしてもらう。

学校では目立たない子どもが、ログハウスでは生き生きとリーダーシップをとる。子どもだからできる遊びや友達との交わりのなかで、人間として生き抜いていく知恵と力が自然と備わって行くことだと思います。

子どもの遊びは人間関係をつくる基本であり、遊びをとおして他の人格を認め、やさしさが育まれるような事業を展開しています。

#### 子育て支援・親子サークルの支援

乳幼児向けの自主事業を充実させ、乳幼児とその親がいっしょに遊びながら子育てについての悩みや疑問を気軽に話せるような場を設けます。事業をとおして、孤立して子育てをしている親を一人でも無くしたいと願っています。ログハウスを安心・安全な子どもの遊び場として、また、親同士の交流・子育て情報交換の場としています。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願ひいたします。

## 7 管理経費に関する考え方

- (1) 効率的な管理運営のための具体的な計画について
- (2) 経費節減のための工夫について

### (1) 効率的な管理運営のための具体的な計画について

- ア 施設管理・経理等を、当区民施設協会が運営している他の施設と一体的に行うことにより効率的かつ管理費の縮減を図り、サービスの低下を招かず、利用しやすい施設を目指します。
- イ 施設を安定的に管理するために、永年培った経験により競争性の導入やスケールメリットを生かし、総合力のある施設管理業者に委託することにより、利用しやすい施設サービスを図ります。

### (2) 経費節減のための工夫について

#### ア 通信費（郵送料）の節約

- ・ ログハウスだよりの各区のログハウスに郵送していましたが、ファックスを活用して郵送料の縮減を図っています。
- ・ また、電話料金の節約のためメールを活用します。

#### イ 事業費の工夫

- ・ 事業企画のさい、ほどがや市民活動センターAWーズを活用しています。
- ・ イベントにはパートナーシップ事業で築いた人脈を活かし、横浜国大生のボランティア協力を引き続きお願いします。
- ・ イベントの工作物などは、家庭で不用となったペットボトルやダンボールを使用します。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

様式 2

## 平成 20 年度 横浜市川島町公園こどもログハウス 自主事業計画書

団体名 保土ヶ谷区区民利用施設協会

事業名	対象	自主事業予算額				
		総経費	収入		支出	
			委託料	その他	材料費	その他
①まどにお絵かき (テーマを決めて全3回)	幼児～ 中学生	3,000	3,000	0	3,000	0
②おはなし会 (全10回)	幼児	2,000	2,000	0	0	2,000
③かるがもキッズ タイム (全3回)	幼児	2,000	2,000	0	0	2,000
④プレイデー (全5回)	幼児～ 中学生	88,000	88,000	0	68,000	20,000
⑤川島保育園との 合同企画	幼児	5,000	5,000	0	5,000	0
合計		100,000	100,000	0	76,000	24,000

事業ごとに内容を様式 3 に記載してください。

## 様式 3

## 平成 20 年度 横浜市川島町公園こどもログハウス 自主事業別計画書

事 業 名	目的・内 容 等	実施時期・回数
①窓におえかき	<p>ログハウスの大きな窓ガラスへ、テーマに沿って子どもたちが自由にのびのびと絵を描くことができるイベントです。</p> <p>また、20年度も19年度に引き続き地元中学校美術部に絵を描いてもらい発表の場を提供します。</p>	年3回 第4土曜日 (全3回)

事 業 名	目的・内 容 等	実施時期・回数
②おはなし会	<p>読み聞かせボランティアグループ“茶々～チャちゃ～”によるちびっこ向けおはなし会。</p> <p>絵本の読み聞かせは、聞く力を育て、ことばからイメージする力を育てます。本（おはなし）に対する興味がわき、子どもの心に楽しい創造の世界を広げます。</p>	5～7・9～3月 第1火曜日 (全10回)

事 業 名	目的・内 容 等	実施時期・回数
③かるがもキッズタイム	<p>ほどがや保育ボランティアグループ「かるがもキッズ」による幼児対象の親子遊び。</p> <p>手遊びや体操など親子でできるいろいろな遊びを教えてくれます。子育ての情報交換や親同士のコミュニケーションの輪が広がって行くことも期待します。</p>	5・7・9月 (全3回)

事 業 名	目的・内 容 等	実施時期・回数
④プレイデー	19年度来館した子供たちに実施したアンケートなどをもとに、子供たちがワクワクする遊びや、身近な素材を使った工作など、季節に合わせてイベントを企画します。	5・7・10・12・3月 (全5回)

事 業 名	目的・内 容 等	実施時期・回数
⑤川島保育園との合同企画	今年度初めての企画として、隣接する川島保育園と協働し、地域の未就園児と保護者を対象に、園の保育士と園児が遊びを通じて交流します。	年2回

## 平成20年度こどもログハウス管理に関する業務の収支予算書

(単位:千円)

		内 訳	金 額
取入合計(A)		①+②+③=A	7,558
項 目	①委託予定額		7,458
	②利用料金収入		0
	③その他収入 自販機収入		100
支出合計(B)			7,558
項 目	人件費	スタッフ(12名)賃金、法定福利費	5,318
	事務費	旅費、消耗品費、会議賄費、印刷製本費、通信費、備品購入費、施設賠償責任保険、手数料、諸費	566
	事業費	自主事業費(青少年向け)	100
	管理費	修繕費、機械警備、害虫駆除、塵芥処理など	806
	ニーズ対応費	運営委員会や利用者のニーズにより執行	0
	事務経費	労務経費、消費税、研修費など	768
収支(A)-(B)			0

※ 1年間(12ヶ月)の収支を記入してください。

※ 各項目については、必要に応じて別紙にて説明資料を添付してください。

こどもログハウス 収支予算書 【様式6 説明】

(単位:千円)

項目	支出合計	(1)+(2)+(3)+(4)+(5)	7,558
人件費 (1)			5,318
時給職員			5,318
賃金	スタッフ(12人)		5,264
	労災保険料		26
法定福利費	通勤費		4
	健康診断料		24
事務費 (2)			566
旅費			7
消耗品費			100
印刷製本費			3
会議賄費			16
通信費			111
備品購入費			150
施設損害賠償責任保険			155
手数料			4
賃賞			20
事業費 (3)			100
自主事業費			100
管理費			806
修繕費	小破修繕		130
害虫駆除	年2回		35
機械警備点検	常時		479
清掃業務	年4回		78
その他	塵芥処理料		84
事務経費 (5)			768
労務経費			482
消費税			266
研修費	接遇、個人情報保護等、救命救急		20